俳諧一葉集

後編

二

伊地知文庫
文庫20
355
7

文庫20
355
7

東洋文庫

俳諧一葉集清息之部

伊地知氏書冊

古夢庵佛号　幻窓湖中　編
坎窩　久臧　校

東洋文庫

三月十四日

東京ヨリ発文

[illegible]

柳線ヨリ発文

[illegible]

[illegible]

[illegible]

仏神を　十徳をとえて　芋虫の成るう　小吉

○

一　道徳（略）

そもそも道徳の二字ゆるして心を地道とする世もしるべし
んといふもしも天にうれをえて花咲う
高き道とハいつめて世ものし聖ハ限りなくれて世の
まことをふせの飽くまこうれる此ハ長と世んとられハ
うしのめしハとうをくらんをとくとうられく
学しのふんハ世ふ叶の心をうくよ千ぬ　おまとちのれて二
ふく鼻のうけうなめ　ゆんすくて世ハ先ちく
若しふとハ抜れて後ハ世んくしふさん若しとい
しく世ふ人ハ世千ゆうて他人をや世ゆう家ゆう家ゆう

家ゆ世ふ人ハふをそ千ふ後ハ家ふすむ人を
ゆう叶のあるうをゆく若しまくふ家ゆう家ゆハ
慶家ハ慶千しくを自生ふ人しまの若ハ世
いしも親家の花ゆうふ入きれしも家ゆうをもしもを
ゆくハましくを家くをもふかくを聖人の家ふを
今の人もいふく世ハさんやはくまを世ハ叶ゆを世ふ華
物の叶ハ限人をゆをハしあゆを物の叶をを大ゆを世ハしむ
家ふく天の世ふものうしくを物家福ハ人の若しふう
一道ふを世をもふハ文ふ家ふ一ふをめ世ふをを家ふくれふを世ふ
めをふゆく若しくをもふハ世ふをを叶ふをふ世ふ
朱ふ家ふをふをふくれふをふ世ふ叶ふを家ふ叶ふ

三月廿日

性然丈

○

[illegible]

女角板

○

[illegible]

社のいろめてみて[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

白宮社先ら

○

一石清水流水切法[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

年暮れ及くかみこれ羽わり仙
これ〻特一くいまたむ〻の左ゆ〻人のはんまけらく
はし

〇

一をも芳州郷あ之合金を二分ゆの〻て弱し相はもひ
ゆ夫西屋下いされと秀ふるゆ〻ゑ〻ふ〻
すくもく

〇

寿穂

当地ゆ〻人附句ゆ〻ゆ句江戸中美人をくもし手に触待空を

寿へくとく手よゆ仏体義俗伝〻ゆ肉元よゆしをいきをくみ
定のゆ句趣ひをくゆ〻きゆ〻ゆ東武ゆいろめし更ゆ〻ゆ梅
を附句

蒜の芽のやうにすくと手の色く
とらつ〻おゆる
雪のゆ〻る花は跡瓦とよみをう

二月上巳

木曲稼

主正雪

毒蛇あ尺成人の分句を文ゆ〻を〻伝を更ゆ〻し俗句伝
俗ゆ手形考〻貴ゆ手孫をゆ〻及正をい随句下ゆ主ゆ主

高くまた古今一数あり歌は切京中定る人をもて伝ふる文
の間文歌をも伝ふ伝ふ伝ふ撰集名古木文又人定
有跡ひとつ定まるまでもいとめく更の物語

貫之集　業国集巻七

春風徒来

蒜　社中の記千書のわるを見伝うて
春のおつ花の弥生にもうい
木をもうる初めて　おとうまつ

二月六日

文屋秋樹

称美の詞

木国

杭瀬川の菊ふるうおもふ家をたちて書の自は海道全書
ふ伝ふ宗次人生をもて八幡宮の菊ふるうかの菊ふるうを伝ふ
以文をも伝ふ伝ふ人三分同物千同物ある古今判定
ふ知ふる人二分をもあるの伝ふ伝ふ
かとゆる世をも伝ふ伝ふ察の古も一面人
ふをもふ伝ふ伝ふ伝ふ伝ふ伝ふ伝ふ伝ふ伝ふ
の文をもふ伝ふ伝ふ伝ふ伝ふ伝ふ伝ふ伝ふ伝ふ
料宮伝ふ伝ふ人物文人物文人物文人物文人物
覧ふ伝ふ

自撰の詞

文屋秋

古撰集人物を伝ふ伝ふ同定ふ伝ふ伝ふ伝ふ
まして文を為ふ伝ふ一物ふ定ふ伝ふ当時未来

世をうしなひ世をさせんと性をうしなひ人をきさん人ハ
たとへ一代の性を学ぶまでも一文不知馬鹿の者にて候
学ぶまでもまたく此一句を酒を飲へ
右酒海一枚記清八ハ新蔵主ハ新蔵主ハ
学ぶし掛物をしき床をうつくしくかざりたる人の作なる
ちよと寄ってまりいきをしかるとかたるを花前
寄して大酒八ハ毒角をあけ乳をあけ人自を
新のかたを香をめ
めの毒きをハやうしゆ男こうま
十七
世角丈
とを銭

○

[illegible]

一是も元禄の句

かり暮れ[illegible]

山後[illegible]

[illegible]

一此秋は[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

一沼[illegible]

[illegible]

芭蕉 桃青

○

[illegible]

[illegible]

正月三日　　芭蕉

[illegible]

[illegible]

○

[illegible]

やとりて[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]通の大坂[illegible]屋伝いしゝ[illegible]
其志三年以前より尺[illegible]
所行能因の去[illegible]八[illegible]
[illegible]

不通仕[illegible]
[illegible]

二月十八日

[illegible]

○

酒屋[illegible]
[illegible]
一西[illegible]
不仕[illegible]
[illegible]

一所ノ今度ノ成人おとなの女子ノ中成ル

文政九月一日

如月ノ桜

○

芳翁様ノ御ノ尺ノ美しい美母様ノ用室むすめ之ノ事ノ

ものしるしとして拙ノ名ノ持ノ所ノ家ノ事ノ

ひかり　花枝

ノ百ノ歌ノ

一乙ノ御ノ人ノ子ノ所ノ方ノ様ノ入ノ乙ノ方ノ様ノ

ノ所ノ様ノ人ノ様ノ所ノ様ノ拙ノ人ノ歌ノ

一ノ家ノ様ノ様ノ人ノ様ノ様ノ様ノ大ノ切ノ様ノ

様ノ様ノ人ノ様ノ様ノ様ノ人ノ様ノ様ノ

ノ様ノ様ノ様

[illegible]

四月廿四日

小枝文

[illegible] 蛟[illegible]

[illegible]

○

[illegible]白木五斗蒔白一百

一[illegible]

[illegible]の坂

かくそくみのふ[illegible]

[illegible]

えうや　夏の　上[illegible]　米[illegible]　小枝

[illegible]

[illegible]

[illegible]

恭を見て強人いまさるも

○

然るに約束の新宮の行者の人々は訓化女子の人と雖も若の振舞をうくるに恐縮不堪ひとしく一向ものをいはず呼吹ひとしく扇箱も木石のごとく黙して行き相互に新宮の人は他人くとあるいは同伴の人々は他人くとあるいは無人とも相互の物語人々御礼致さんくに紀生の芝居を見るに新宮の人は吹ハ相のしくに初めの者を称たくに新宮の人は他人のさし学ぶとの調子のけれどいとしいハけとも遠ざかる白味とくしようきとうものこんてきたの

風人ふたれハ相ゝれふるとともに行くに新宮ものこと

流地をもちひるをもちひるを新宮人のひとをもちひるを

家屋を同じくしひをもち仕ず新宮をあくこれハ二十四孔

新宮もこれハ者の貴方をあくこれて相撲を少納の相撲

ぬかを新宮の人も相撲をハ一きさんすく人武林道中人

まるものこれかの軍記敵白鵯の詩云ハ武州の人の行

新宮の家中の人ゝを名古屋を出る新宮ゝ

ゝゝ行ゝ詳ゝ書する　橋の元

芝蓮院

二月十五日

一笑　校

又武士ハ敵生するものの新宮人ゝ武士ゝ魚ゝ橋ゝ

うゝ人ゝ新宮ゝ行ゝ出ゝ新宮ゝ行ゝ出ゝ新宮の猟

[illegible]

○

附合十七体の式に記して神人を[illegible]の御の付め
[illegible]味を[illegible]人をいて一句と調に附[illegible]
[illegible]の[illegible]又[illegible]の[illegible]味[illegible]
退く人[illegible]の[illegible]術付[illegible]
甚むい[illegible]き[illegible]人の付[illegible]
情[illegible]変化[illegible]
人八[illegible]紙[illegible]
[illegible]八[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

小枝秋

○

為日を慰ぶ傳ふ手ふれ紙ぶらかはいさ[illegible]
かうこひ為日をこそなるとてとてやはり紙人を為黄白
いとし

稈の穂は[illegible]るけしきかな
恵の穂　とよとて手　吹うる秋おうま
めなるとかうかとてとてとて　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
枝枝

男ふうるのもむ新や秋の月
八月四日
千蔭秋

○

陸士秋の坊宗とう坊ふ[illegible]く
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

七月十七日　牧金物

○

[illegible]

八月廿一日　き末文

○

[illegible]

卯月十五日

山藤丈
お川丈

ゑれ人のこゝろすいさう　ものゝ

○

一松平豆腐屋の白物売て扇引さくるゝ所ゝ立ゝ
紙屋ハ角ハ服ゝ八草ゝ叶紙遣ゝ放
伝ゝ式俳諧者人の挨拶ゝ
きめるゝ所ゝ出ゝ
角ハ
山中四度ゝ三ゝ物ゝ
此度ゝ二ゝ物伝ゝ

ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]

十月十三日　小枝様

○

元

一もち米　一升
一くろつ豆　一升
一ゆず　大合

[illegible]

十八日　武八様

○

山椒角柱雲門饅
屋敷松蕪越州茶
御法ハ僅なれとも
[illegible]
[illegible]
又性無[illegible]
[illegible]

[illegible]

十六

浪化様　　桃青

○

[illegible]

廿二

仁多郡

[illegible]　　そらく

○

[illegible]

上

十七

桃青

ちさとの郡

又　そえんか郡の中山　神うらを

○

[illegible]

七

牧風丈　　そらく

○

二白俗話の[illegible]

[illegible]

[illegible]

十七日

晩方雨

○

傘に張りかへ[illegible]

おやゆびこの張りかへ[illegible]

七日

三項雨

○

新麦一升第二の油の中[illegible]

[illegible]

新一斗小麦粉二斗[illegible]

[illegible]

○

松原[illegible]

[illegible]

松原雨

おかくろ雨

口上手かきの[illegible]

○

口上

[illegible]

三人よりの一物[illegible]

[illegible]

[illegible]

廿四日

書者先生　　芭蕉庵

○

[illegible]

[illegible]

二種[illegible]一[illegible]

[illegible]

[illegible]

廿三日

支考文　　[illegible]

○

[illegible]

[illegible]

[illegible]

梅の香や　[illegible]

一事[illegible]のてくたしさ[illegible]

やるせなさ

二月十三夕　　武陵芭蕉

梅丸老人

○

[illegible]

一夢　[illegible]　梅　[illegible]　杜　[illegible]

水光接天白露横江[illegible]

[illegible]

[illegible]

江の白又[illegible]

江の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]文を味合[illegible]

荊口丈　　芭蕉

○

[illegible]

[illegible]

[illegible]

去月十五

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○

[illegible]

十八日

め行丈

桃青

○

[illegible]

二日

かふしや義仲紙

○

保生作与丈三作

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十月[illegible]

[illegible]

○

[illegible]

廿三日

[illegible]

秋風文

歌舞伎

おもふこゝろのなかりせば
花のうへやこゝろのかぎり
以上　　そゝ紙

○

尾州藩川村家家中ひとりの少科被為
ゆるされ候文をもつて
ちな　　そゝ紙

三千里尾張大根のそゝしうれ

又

義祭一さめつゝ梅とあうらう

味噌八ツ特ゝふうりあり

○

尾州廿三ヶ所ゝ紙先ゝそく才くめて商ふ
の記ゝ図ゝを一冊ゝいつゝ出ゝ信濃通ゝ二ヶ月
あらうつゝ

ゝちゝ　種ゝすゝ紙の刈敷

ゝる新あゝくゝ見ゝちゝ紙の白上ゝちゝ以ゝ高ゝ白代
とゝゝれのゝこ

廿日　　そゝ紙

作分文

○

一桃陰ゝは赤ゝ紙ゝ義ゝ家ゝ舎ゝ門のゝ

[illegible]

一市[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一宗[illegible]

[illegible]

六月三日　　祝言

[illegible]様

○

[illegible]

大[illegible]

金[illegible]

[illegible]

出水様

○

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十月

加生松

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二月廿五日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十三ヶ

和泉文　桃青

○

松風抄

[illegible]

[illegible]

一時に[illegible]加州金沢[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二月廿二日

世之進

○

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一先ゝ宝寺手ゝ中ゝ迄ゝ為ゝ厚ゝ申ゝ上ゝ候ゝ所ゝ
別ゝ而ゝ之ゝ様ゝ相ゝ又ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ
相ゝ成ゝ申ゝ上ゝ
二ゝ月ゝ廿ゝ三ゝ日ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ

東身世四

家巡長士

○

芝重

廿ゝ八ゝ日ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ

梅のかをり折やうす木は梅のこゝ
ろ旅枕いとしく思ふ春の夜の
廿一日　左梅夫　桃李

○

宮秀雄と中俳句上手なる人なれば
はるばる来て句作をなす
あり間少の間のうち作句
中に又雨月中に
先旅人後と度無きの
はるゝまに帰りてやうやく
ひとり句

廿一日　小向宮幼稚

○

夕後帰宅せしに
一日不在の間に
ふるさと
しのぶ
一稿
一稿

二月十三日

[illegible]

芝屋

○

一高月十六日かの[illegible]京[illegible]く、一高の紙[illegible]

[illegible]

[illegible]

六月十日

牧之原

○

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九月十日　枕風録

○

[illegible]

入伝一日

物作りや　紫　れうちれ　月と　む

いつて見しに　[illegible]

[illegible]

廿三日　枕風録

○

三月十九日伊賀上野を出て三十四里の所と百三十里代内舟

十三里　[illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]

不動坂　生田　小野坂

山崎　白川　玉尺山　安祥嶽　高野山　天の川の峰

鳥尾寺山　金剛寺山

此外橋の数川の数多く山しハ中すべし

卯月廿五日

万菊

桃青

熱田七橋

○

雲こう一筆の詩句ならべ仏まつり吹きたてしかぜ

ちりも合れ来れり

そもそも風流風雅ハ俗世宗教を超越し上

京角まつしを尋ちつひ大変の新改をし

ハ多種ゝ抑元あ多くの学者ゝ作の詩歌吟味ゝ来下所きゝ

ゝし其宗祖の事を詩し大井川の舟渡ハ伝ゝ云ハ伝ゝを

振旅篇山新宮の詩めし尋ゝ里ゝ

三月中ゝ

熱田七橋

桃青

○

一信濃ゝ国ハ当年八重咲ゝ桜ゝ貴物面倒ゝ

ゝ有ゝ此世界ハ二人ゝ十方ゝ

一西方弥陀ゝ願切生ゝ

一京祇尼様ゝ物情ゝ人ゝ面上ゝ

一 [illegible]

一 [illegible]

元禄七年十月

一 [illegible]

[illegible]

○

迷物覚

一 三の丸

伊賀[illegible]

一 貴白書出

一 埋木

一 新式書入

[illegible]

一 文章反故

[illegible]

○

一 羽柴岩出[illegible] 貴白貴[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

同所

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一古今の序傳百人一首秘伝抄是は文[illegible]の[illegible]
文[illegible]抄

元禄七年十月日

○

[illegible]

年[illegible]

[illegible]

十月十日

松尾芭蕉

新蓋八雲に骨らず[illegible]

俳諧一葉集句合評之部

古学庵仰号
幻窓湖中 編
坎窩久蔵 校

小[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

寛文十二年四月廿五日　伊賀上野　松尾氏宗房

[illegible]

松尾氏宗房撰

三十番俳諧合

一番　左勝

みのひらるをやかの家の秋　三木

右

春の家やみなくむかしすくるかな　義仁

[illegible]

二番

左勝

紅梅は花もなくやはつのいろんをくる　氏男子

右

只今千梅をそのもやは火休そ　蛇足

左の赤心ふんふるは大坂をもる丸の黄金をふふ小寄

なれはかくて　右梅を黄金をふるのもは梅むしのにた

寄をもて仕なをは主ちうをさて梅の黄白と花は梅の黄

白をは仕こは今ふりはれしられも賞、寄をものひ耳和

とうくなのふん袋は赤白とをかお袋をふれは右の寄を

はふふ仕はは黄ひをもて仕をは以為勝

三番

左

なくあるやはつ仕のはは白ひも　庚節

右勝

数千まむうるひすはうるはお行み　哉也

左御寄のおをかきをんのとかをを白ひるの仕ふ寄をれ

くるはけをくををつをもをにくをなれをを左のおるはみ

数千まは仕はをを数を数を数を数を数を数を数を数を

百姓の納米のくはけをを寄をおくををくをを数を数を

四番

左

きうう稲は寄の表をんををまををや　仕条母

右勝

表　立ってはおをもはや稲をらををんけ　和正

[illegible]

[illegible]

[illegible]

むく犬の屋をしらき仕立てれたるのうまのしりくく
みとらしらしらと山吹のいと情しらしらと少なれハ春
逸物の犬猫子猫ハ先しらしられけん

七番

左　持

たぐらうちんかう糸ハいと猫　　蘆花

右

春ハ猫子かれてうちんかれてはゞ猫　　代家母

左方の白ハ犬右ハ犬とやくいひのうくしられて山吹
ものしと笑しあたかうあるへ
右まくしこむるものの侍宮なれをとりてまるうなれをと
猫子をかれしハ猫を情むらくいつまて猫子をかくき

八番

左　勝

うくしらの受猫きぶ　　猫子

右

猫子のうハ犬をくおけ犬もさくけ　　猫子

左ハ山吹のものの白をくいひのれ受猫子の猫をけう
おりひおくをれう

右の白猫の猫をおくをうを定ふいて口沒ハかうを定
竹ふい猫ををうをもすむの心く後子ハ山吹をを猫
五十手一すくきのひあ猫の枝吹をのの猫をなれハ先
月の雪の吹猫をのふの猫子ハ先ハ仍れをの勝

九番

左勝

[illegible]

右

きてくらす　碁ぐらの内　初こうち　宗房

左花の枝をうちふれくるしかれ　左八梅の枝の新くるも

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右

[illegible]ハきゝやうの[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]の白[illegible]の[illegible]ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一意

十二番

左勝

小古方の[illegible]や[illegible]

義子

右

[illegible]刀ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]の[illegible]ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

雲竹

十三番

左

[illegible]

右勝

通意

ふまへてをれさせんせ枝世枝を折　義正

右の白本紙ゆ丸めてふすべてきてとりをを御る

てををえ一白の立すうるもきれ〳〵しく山かのものも

尺〳〵ねと

右の白あをんをしを云ふ〳〵をを紙をとをれををを

かやの本をくをさひをぶれをを上本紙のむをすめをふ

まへをくをれをむをひ次つををんをもの〳〵をれ八行

右のを枝のをを立ををを作ふんを

十四番

左　拾

かををやれ小春　あふきの織をの絵　勝之

右

扇をやれ拾う　風を吹て来る　甘入

左八加の弾を印ら織ををを織きあのををはじき

番抜し

右の白拾ををを吹てきををを少を扇をいけふれ

をれ八拾ををのをを八加をを山ふをの寸八加をを

ひをを撫かけをを白あの〇八撫陸のををををあをを扇

のかををあをむをの紫本織のをみをを骨をを立をれ八扇角力

はかををけをを拾を物をを立をを八行

十五番

左　拾

すをれをは月やいよけかをを　良好

右

なれさまやわけ雪はけなのうけ　指盛子

たいいとのくくくくふくと伊ゐるとくるふくるハすくくふの

ゆみ風とはとるうしゐのくくもつくれしろい

ゐくまくいなひ踊の物そくくくく

[illegible]

十八番

左　階

[illegible]の上と大[illegible]　稲の米　遠意

右

[illegible]　稲の[illegible]　城伏

[illegible]の白大[illegible]　稲の米[illegible]

[illegible]

[illegible]

又[illegible]の京女郎[illegible]

[illegible]稲の[illegible]

[illegible]

[illegible]

十九番

左　扇

[illegible]　此男子

右

[illegible]　新酒[illegible]　哉也

[illegible]新風味[illegible]

[illegible]新酒[illegible]

[illegible]

二十番

左　勝

[illegible]　小野の[illegible]　政輝

右

女郎花や毛[illegible]　宗房

[illegible]

二十一番

左

作男[illegible]　萩の花　鼻毛

右　勝

[illegible]　[illegible]　石口

[illegible]

[illegible]

二十二番　左勝　三本

[illegible]

右　敗

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二十三番　左勝　餘林

右　改番

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二十四番

た　杉　　餘淋

海の碎やすちをもちあるを

右

かゝ阿の代のちんどくを

たの海の鏡八十とに一至ることを見ゆ　三翠

弱く付れるを白ゝ

男八けれくとゝ八ゝ

とゝゝふかゝ阿八六の

宮もちの恋をもけ

もたくゝれ八他者のちゝふを

けりきれをゝけれ八ゝ杉

二十五番

た　　皐毛

志やゝてゝたゝめゝ八みゝて死れ

右　勝

てゝれ風えを本ゝじやとおし　一入

たの白ゝ白ゝてゝ白ゝふめゝ

ゝけゝれをおゝ

ゝゝ白ゝ

ゝれ海ゝ

ゝれ杉ゝ

ゝれ八ゝ

ゝ白ゝ

ゝ白ゝ

ゝ白

二十六番

左　持

[illegible]

右

[illegible]

勝云

堀次

二十七番

左

[illegible]

右　持

[illegible]

正之

義正

不二子ハ八月十五夜ともくけんと方の流行歌を安
う宮こやけまさこ八さとねるこのやけんん

二十八番

左　持

炭の花や付てうさ〻ふんどる　吉勝

右

炭のこ〻ろやずんといやれ木じや　義勝

左炭ともうとうけ〻ふけるこ〻ろ　えんこる
ゆきやれく一句とくいいえみのけやれあれ花し
ゑの白さんといやれきとハゆれと　ものとくけんと
けこきられハとえけ〻炭ともおほけ〻猪原
すきたらとやく炭のにしいきとけるくて持と疑

二十九番

左　持

掃除〻く新年ゆきけ炭けこう　不屈

右

年徒やけのう文祖ハよく きけ〻　一入

左炭ともうとうけ〻ふんとくふくて掃除〻〻ふハまるあ
ゆゆ〻くれく年花ゑる炭白し
ゑハゆゆ年ときくゆるれゆの文祖ハよく初とこと年
炭ともれるとれ〻ともうむ炭ともかゆけて徒一入付ゆも
文祖ともうくきこ〻れんゑるこ〻ふ方の炭〻〻ふん
の祖ゆるゆとて徒ゆ　ゆとゆゆふハをこうきゆとゆふ年の
ひとんゑこうゆゆふんこう

三十番

左勝

犬の張子やいきうびきやじんの神こを　四男子

右

蓮の花やさうみの出こを神子　神子　一友

犬の張子の白さまこそ人世の夏山あるゆふわいきうび社

樫くうこふ砂社のおやじさんと沙蓮人沙うふく未社のお

うはこやしまさいふまこをかうふけうきんす

うこうひくこおかこかみ仕

ぬのをうこは茶をひくこ神こまうこを化こなれハ

まけの上のやけこうこしとくく息災必命の神子こを

蓮のはうのふまくこを

枕蓮相こ方こ方こ方

延宴八歳次
庚申仲秋日　　[illegible]

田舍之句合

才一番　　左　竹

[illegible]

右

[illegible]

[illegible]

[illegible]

左勝

青の水やうのうく能書の手をはりて

右

引うすの葉をさしのけ青の弱

岩間をとゝろし苔のこい水きよくみなれむる波の文義

之うの石まで悠素の自叙帖の筆のくまをうつして右

此白論まさるべしと

第三ゝ

左持

梅の梅枝ゆのはつ春をうめし

右

宴物まで論論はしるしなくて

豊臣

勝人

豊臣

勝人

左

の山岳の烟雨二青の

二カ巳二黄二ナシヌト他ヨリ梅の結手仕ヨリ更作つよくいさ

優ゆう又物手つくるかいはうまさ形無ゆうよりも

と尺ゝと又つまりたハ色絵ハ大和絵墨絵走書色

色絵ゆうゆう仕方と筆を拵手ゝ又筆をもけうう

第四ゝ

左

内裏米つくゝ古里やおもふ

右勝

と案スルニ宴食の家うゝ自然者

歌後ゆ物ゆ厚ゆ米つくゝ古里ゆ表源ゆふ如手

之内ゆ者れと宴食の自然者歌ゆ厚ゆ米の八大のさと

豊臣

勝人

[illegible]

第五

左　物

地利牡人[illegible]や花あるてり

右　地人

梅物[illegible]

地利[illegible]

老の[illegible]

[illegible]

第六

左　農夫

[illegible]

右　勝　地人

[illegible]

第七

左　農夫

[illegible]

右　勝　地人

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

蘭の花やゆめむらさき紬きれ浪

右勝　　地人

ゆもとうすすほん雪ふんと月雨間

蘭の花のいさぎよきふえひの花ちうふけしき深しく

さをうしろしめの白い川波の音の四季のなやらゆもとき仕

雀を雪ふるふんの雪ふえひと指くおさんゆるねしろハ

春ふ春くぬん

第十一ゝ

左勝　　宗文

むらさき白ふ花ふく宵ふ人陳皮さく

右　　地人

故き火ふ春ふ白しぶんゝハ

枝ふ春おれふふふる梅本の緑青ふとうふ

仕ふふふふふふ又かの梅の布ふ朝ゝ尺つる春のほの白

くゆふふ梅ふ千れ梅のふふふゆふふふ又ゆゝくふ仕ふ

第十二ゝ

左　　宗文

石の枝ふ鐘ふ仕ふふ今の春ふ

右勝　　地人

芝翁の海ゝき岩文のふふふ尺ふ思ふ

石の枝ふ古ふ今ふし芝本の芝翁の梅堂ふ千ひふつやの器

ふ和旦芝春の文ふふかの春ふの能石ふ仕ふおふし酒し

きふのふれふふひやふふ人海

第十三ゝ

左勝

神のゆゑと羽二重帯ハおもものし　男女

右

[illegible]し鉄骨踊り　[illegible]の[illegible]　座人

羽二重の神のゆゑハ美人の[illegible]秋[illegible]と[illegible]る[illegible]の[illegible]和

[illegible]れ[illegible]や[illegible]し鉄骨の[illegible]の[illegible]

[illegible]の[illegible]に[illegible]

第十四ノ

左勝　男女

[illegible]の[illegible]の舟ハ山[illegible]市ハ川武ハ

右　座人

[illegible]の[illegible]ハ[illegible]

公任卿[illegible]の舟と[illegible]と[illegible]れハ[illegible]山一丸

川武の舟[illegible]と[illegible]

吉本の[illegible]

第十五ノ

左勝　男女

[illegible]メ[illegible]る函館や[illegible]耶丁追

右　座人

[illegible]函館の[illegible]

[illegible]の[illegible]

第十六
左勝
小限者年年〻八秋の夕べを拾よ　宗丈
右
秋の心は沈八位は嵩花　雅人
元方の白張は法師の宿兄位にて　[illegible]
やまの白雪　[illegible]仍て大箱山を捨ての和尚さまして
問フ屋ヲ仮ヲ学者を貴すると[illegible]一称を[illegible]
[illegible]のごとくなる[illegible]仍て故の白閑に入
第十七
左
砧の町家　[illegible]　宗丈

右勝
芋を植て[illegible]　雅人
[illegible]の白里の砧[illegible]
八[illegible]
[illegible]
[illegible]
第十八
左勝
白子の[illegible]　宗丈
右
紀[illegible]行　雅人

[illegible]

[illegible]の白ハ佐[illegible]

[illegible]の色や利休[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

第十九

左　[illegible]　[illegible]

[illegible]

右勝

[illegible]　[illegible]人

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

第二十

左　[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]　[illegible]

右

[illegible]

[illegible]　[illegible]人

[illegible]

[illegible]

第廿一

左　[illegible]

[illegible]

右

[illegible]　[illegible]人

火性のもの[illegible]
口切の一[illegible]
飯の業いろ[illegible]
陽氣壯剛憂[illegible]大火燔燒又精帶[illegible]則憂[illegible]
を以[illegible]

第二十二丶

左 [illegible]

[illegible]

右

[illegible]

[illegible]

宏文

[illegible]人

[illegible]

[illegible]

第二十三丶

左 脇

[illegible]

右

[illegible]

[illegible]

宏文

[illegible]人

第二十四

左　猪

[illegible]山家[illegible]味噌

[illegible]

右　[illegible]家[illegible]

一[illegible]　味噌

[illegible]

[illegible]

[illegible]

鶯の谷より木はさそふ風に解そめしみちをゆくそのかと
ゆくすゑ遠の音ことに四時全く雪の降るひとつ
其味の深くあるをあらそ

枝風子

雪舟屋と句合

第一番

左 勝

梅ちるを八百屋の狩り茅とし

右

とり小松ゆ茅は八百屋の狩り梅をゆくひ雪を業とし物
ちるを八百屋の狩り茅とし
日の松を引くとくらしてくらく待ちを先八百屋の茅の
かくまをやとくらく仍以左為勝

第二番

左

[illegible]やなぎの干物の木用をくるに

右 猪

[illegible]用うとの[illegible]紅葉

左 干物の本角を[illegible]

用うとの[illegible]

白ひかうを

第三番

左 持

芹とる菊 碧潭の空んこころ

右

[illegible]ゆるく吹く 青苔 [illegible]

碧潭の空 芹とる菊 [illegible]

[illegible]の初[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

第四番

左 持

[illegible]

右

[illegible]

[illegible]

[illegible]

第六〜

左 [illegible]

右 [illegible]

[illegible]

第七〜

左

第古〜

左

さらく蒲萄いりあく人みなをいさらく

右 [illegible]

[illegible]

堀のうち紫堀の堀うち

右勝

[illegible]法の手[illegible]破れ　山は松本の風

むらむら草の[illegible]木の間[illegible]　[illegible]又破れ　山の

うちの大木[illegible]　[illegible]山うちの雪[illegible]や山海

[illegible]　[illegible]郷度莫の野[illegible]きこゆる

[illegible]段大樗[illegible]なみ[illegible]れ[illegible]うちの大木

又[illegible]

才八〇

左

柳のもとの[illegible]花[illegible]紅いくれ[illegible]

右勝

[illegible]人山[illegible]は[illegible]

花柳のうち[illegible]上戸の[illegible]

[illegible]人の[illegible]本月度の[illegible]

風流優[illegible]やさ

才九〇

左

[illegible]　西　杜[illegible]　[illegible]

右[illegible]

[illegible]やさ[illegible]は[illegible]

[illegible]

[illegible]

左持

きり屋のゆきてくれの命うれ

右

夕新やを高きまうけ家おもみの

斎戒国のかとてうけて義経蘇の二すじをかりそ

ひろ先屋の日数八られを翌子位やしおさいへと今を

まて利根上あるまむ海ひろ世上京命不食切れてもら

あるとまあるいのちあれ定蘇屋ちくん天地をゆるして

定家をあまあまくの梅法沙の中ゝ定家上人とひろ矢ふれ又

五稜ゝ入て高きゝ作ゝ庵ゝとてゝ八を長寿きその家おけ

ゝ風情書屋の書ゝ知ゝとふんやとゝ論きゝとくく

ゝてやとく

第十一ゝ

左持

女ゝとゝ菊きくくゝ和子ゝ方うゝふけゝ雪

右

山鳴れ坂ゝ世けきけゝとよゝくゝ

色ゝ紫ゝ作ゝ方ゝ方ゝ菊ゝ夫ゝ切ゝ式ゝ新ゝ娘ゝ

ゝ知ゝ知ゝ方ゝ方ゝ毒ゝ毒ゝ毒ゝ毒ゝ毒ゝ毒ゝ人

ゝ夫ゝ夫ゝ和ゝ和ゝ和ゝ和ゝ和ゝ和ゝ和ゝ和ゝ和ゝ

きくけ人八ゝ和ゝとさ作ゝ和ゝとよゝくゝ八ゝ古ゝ茶ゝ

ゝ下女のゝみゝくゝくゝくゝくゝくゝくゝ

第十二ゝ

左勝

五月雨ゝ作ゝ作ゝ作ゝ作ゝ作ゝ作ゝ作ゝ作ゝ作ゝ作ゝ

右

天竺の枝形もゝの木はゝ[illegible]

張宮の天王寺の西の[illegible]

遍照の僧正の[illegible]

有の美仲[illegible]

[illegible]

半十三〻

左勝

[illegible]

右

[illegible]

左第本[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

半十四〻

左

[illegible]

右勝

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

半十五〻

左

里芋の長ふり畠中　はたもとやんハ

右　勝

蓑ハ山ふしうつて垂綸陽子自然生

里芋無子て実外しの山の蓑自然蓑笠生の言葉ひ

んてハうつてやや但自然石自然不ホの新しうしの

すしきう子上五文字力ゆうて一句とつくれの作者

山孤しうし

第十ハ

左　勝

桑伝身を尺くを柄子の新はしくを

右

乳酒の伝尺くや柄子の書を受ル

左の五文字先路寺子ふくを柄子の特やとを遇も

加の古大根を食しふる芋を式義をくしやの白破戒の作を

いしくしあしを床柄しのせををうけ焦熱の苦しみを柄味

味の釜うけをあしやとおををくを味桑底苦の作しを

味線をおをくを作れ

第十七し

左　勝

暮山の雨　松茸　のすこくをひとを

右

岩ふをふ木をくけは耳子を

ちをいくをを海苔ふの白子ぬれを松茸のすこくをふる

けしきを紙子の和子立味深しの白と一体をを子をれ

[illegible]

第十八

左　勝

[illegible]

右

水又栗こを清しといとんとなれハ

柚を密柑金柑の論ハ俗の中に俗を[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

第十九

左

[illegible]

右　勝

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

第二十

左　持

[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]

右

山[illegible]の[illegible]　[illegible]至[illegible]四[illegible]つ[illegible]

[illegible]の白[illegible]夫[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]二十一〜

左　勝

本[illegible]

右

[illegible]や[illegible]　[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]二十二〜

左　勝

[illegible]や[illegible]

右

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]二十三〜

左勝

数ましふものゝ性をゝ[illegible]

右

水籠のゝ[illegible]かんゝんのかんハ[illegible]とよむ

数ハ性ヲ註レカンテンハ文字ヲトク増補献立抄ニ曰ク数ハ風味ノ切以酒煮以油煎則味愈厚シトヽリ此方賞翫ス[illegible]

第二十四し

左 お

大根生ゝ逆ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]人し

右

[illegible]の[illegible]業男[illegible]作[illegible]

[illegible]の日[illegible]大根[illegible]

[illegible]の中北国国之使ゝ[illegible]作又[illegible]

第二十五し

左 お

[illegible]の竹子今ハ塩[illegible]

右

[illegible]北[illegible]

[illegible]の[illegible]宗[illegible]の中の[illegible]河ハ[illegible]

[illegible]月の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]四百[illegible]人才[illegible]文[illegible]

[illegible]

変じ内に対外の合こゝに寄物の稿こゝに集ること二十五篇
此句合とゝのゝ事ゝ事ゝ物ゝ事ゝ物ゝ事ゝ物

跡の原

判者四人

春　素堂
夏　調和
秋　湖春
冬　桃青

四季之句合

撰者

不卜
才丸
其角

一番

左　杜　義紫

義紫つのしぬ木ぬきをうめしらす雪うれ　風水

右

義紫ゝゝ面白の詠ゝやう姿ひとし　杜国

左の句雪屋濁酒を仕ふらんを又山をゆゝゝ不
二の後め一句のゝけをゆらるゝ中夏
尺しらす切字ゝ文字ゝ加て
尺るゝ雪ゝ和歌ゝ為ゝ仕ゝ

二番

左　勝　雪

秋しるは雲ゝかゝ山ゝ　溪石

右

[illegible] 源 [illegible] 屏風 [illegible] 勇招

[illegible]

三番

左 [illegible] 荻興

[illegible] 荻興 [illegible] 二扇

右

いつも狸 [illegible] 失 [illegible] 文蔵

[illegible] 人の [illegible]

四番

左 [illegible] 松竹

松竹 [illegible] 用 [illegible] 孔 松風

右

大 [illegible] 松竹 [illegible] 八 [illegible] 今峰

[illegible] 松 [illegible] 風の

[illegible] 松竹の風 [illegible]

五番

左　持　河代

[illegible]　心水

右

[illegible]　不角

六番

左　勝　石景

[illegible]　調柳

右

[illegible]　立性

[illegible]

七番

左　勝　鴨

[illegible]　晨空

右

[illegible]　魚史

[illegible]

[illegible]白綱[illegible]やいとん

八番

左　お柱

[illegible]木[illegible]お杉千　さうる　楓　うふ　一雛

右　勝

門開く　[illegible]　ゆつ　お杉　ゆ　琴風

お杉千さう　楓の[illegible]

[illegible]お杉　[illegible]　[illegible]

[illegible]

九番

左　お　[illegible]

[illegible]の杉[illegible]の[illegible]　[illegible]　李示

右

[illegible]　[illegible]　[illegible]　仲[illegible]

[illegible]

十番

左　勝　祢宋

[illegible]　[illegible]　士来

右

[illegible]　[illegible]　祢宋　[illegible]　弧屋

[illegible]

十一番

左 勝 [illegible]

山里や [illegible] 京 [illegible]

右

[illegible] 兼[illegible]

[illegible]

十二番

左 蝶 掃部

[illegible] 茅白

右 勝

蝶 [illegible] 不卜

[illegible]

一枝 [illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]